

横須賀ごみ処理施設の稼働について



資源循環部広域処理施設建設室

今までの経緯（ごみ処理広域化の経緯）

平成9年 ごみ処理広域化に関する国の通知

平成10年 神奈川県ごみ処理広域化計画策定

横須賀市、鎌倉市、逗子市、三浦市、葉山町

横須賀三浦ブロック他、県下9ブロックを設定

平成18年 横須賀市、三浦市、葉山町

鎌倉市、逗子市

横須賀三浦ブロック他、県下9ブロックを設定

平成20年 横須賀市、三浦市

葉山町長選の公約に基づき、葉山町脱退

今までの経緯（ごみ処理広域化の経緯）

平成21年 「横須賀市三浦市ごみ処理広域化基本計画」策定
ごみ処理施設に関する事務の委託

可燃ごみ処理施設及び不燃ごみ処理施設の建設（三浦市 ⇒ 横須賀市）
不燃ごみ残さの埋立処分施設の建設（横須賀市 ⇒ 三浦市）

「横須賀・三浦地域 循環型社会形成推進地域計画」策定

平成22年 建設計画地を長坂5丁目減容固化施設周辺とすることを公表 ⇒ 地元町内会等に対する説明会実施

建設に係る調査の開始（基本計画作成など）

平成23年 新ごみ処理施設建設計画対策協議会設立

今までの経緯（工事着手までの経緯）

- 平成23年 新ごみ処理施設建設計画対策協議会が建設計画地を容認
- 平成25年 横須賀ごみ処理施設整備実施計画策定
- 平成26年 環境影響予測評価書公告
都市計画決定
新設道路工事着工（平成28年9月30日竣工）
- 平成27年 横須賀ごみ処理施設建設工事入札、契約
- 平成28年 横須賀ごみ処理施設建設工事着工

ごみ処理の広域化

横須賀市

- 南処理工場の老朽化

老朽化対策費用

- 最終処分場の確保

県外の民間処分場への委託

三浦市

- 焼却施設の確保

横須賀市への処理委託

- 最終処分場の残余容量

埋立ごみの一部を県外へ排出

両市の課題

施設用地の確保難、財政上の理由

焼却施設
不燃ごみ等選別施設

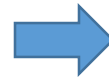
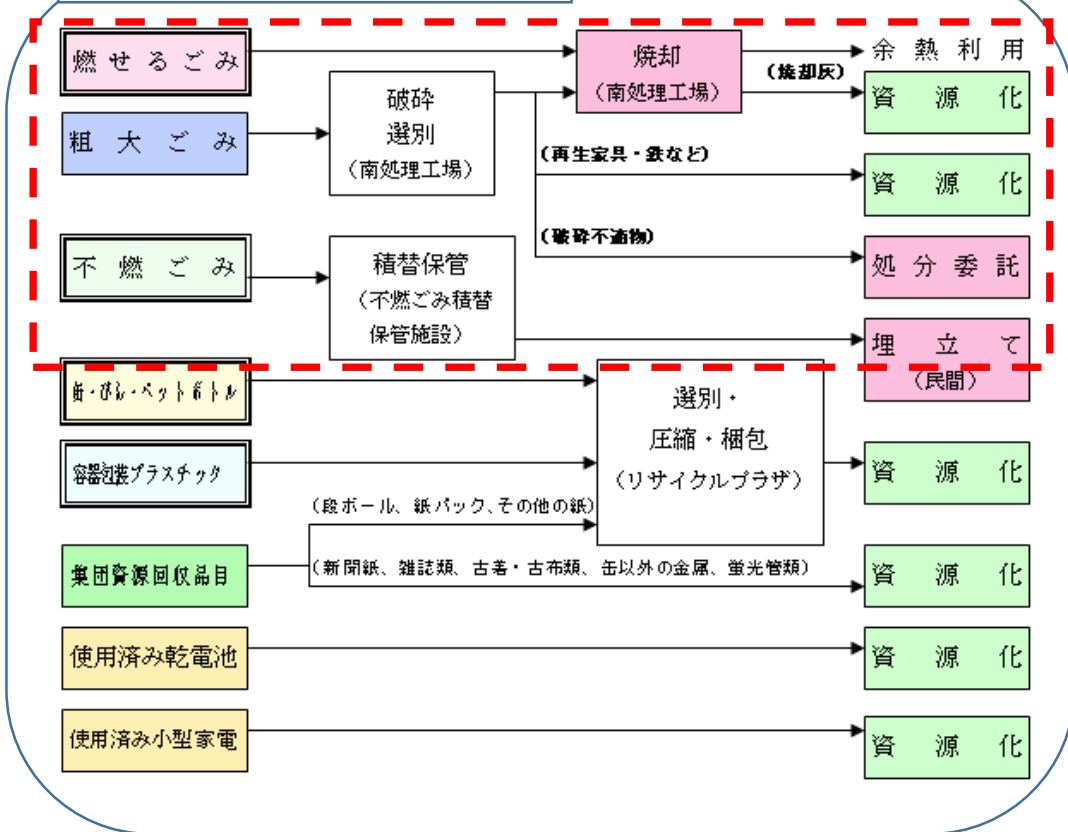
最終処分場

ごみ処理の広域化

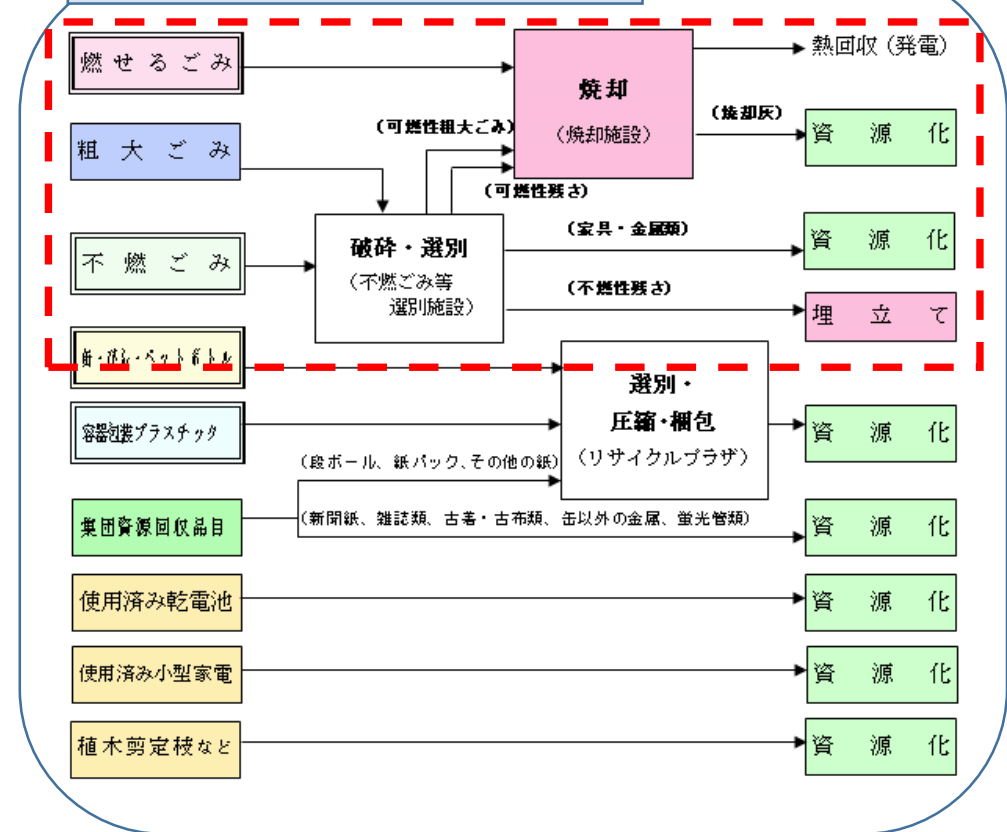
三浦市と共同で「ごみ処理施設」を建設し両市がお互いの施設を利用

ごみ処理フロー

現状のごみ処理フロー



稼働後のごみ処理フロー



広域で処理するごみ

広域で処理(資源化・焼却・最終処分)するごみ

- ・可燃ごみ(燃せるごみ)○○○
- ・不燃ごみ
- ・粗大ごみ

廃プラスチック類含む
(バケツ、CD等)

各市で処理(資源化)するごみ

- ・紙(資源化できる紙)、繊維類
- ・容器包装プラスチック
- ・缶、ビン類
- ・植木剪定枝

焼却施設・不燃ごみ等選別施設建設計画地



横須賀ごみ処理施設建設工事

受託者	日立造船・五洋建設特定建設工事共同企業体
工事期間	平成27年3月2日～平成32年2月28日
契約金額	21,168,000,000円

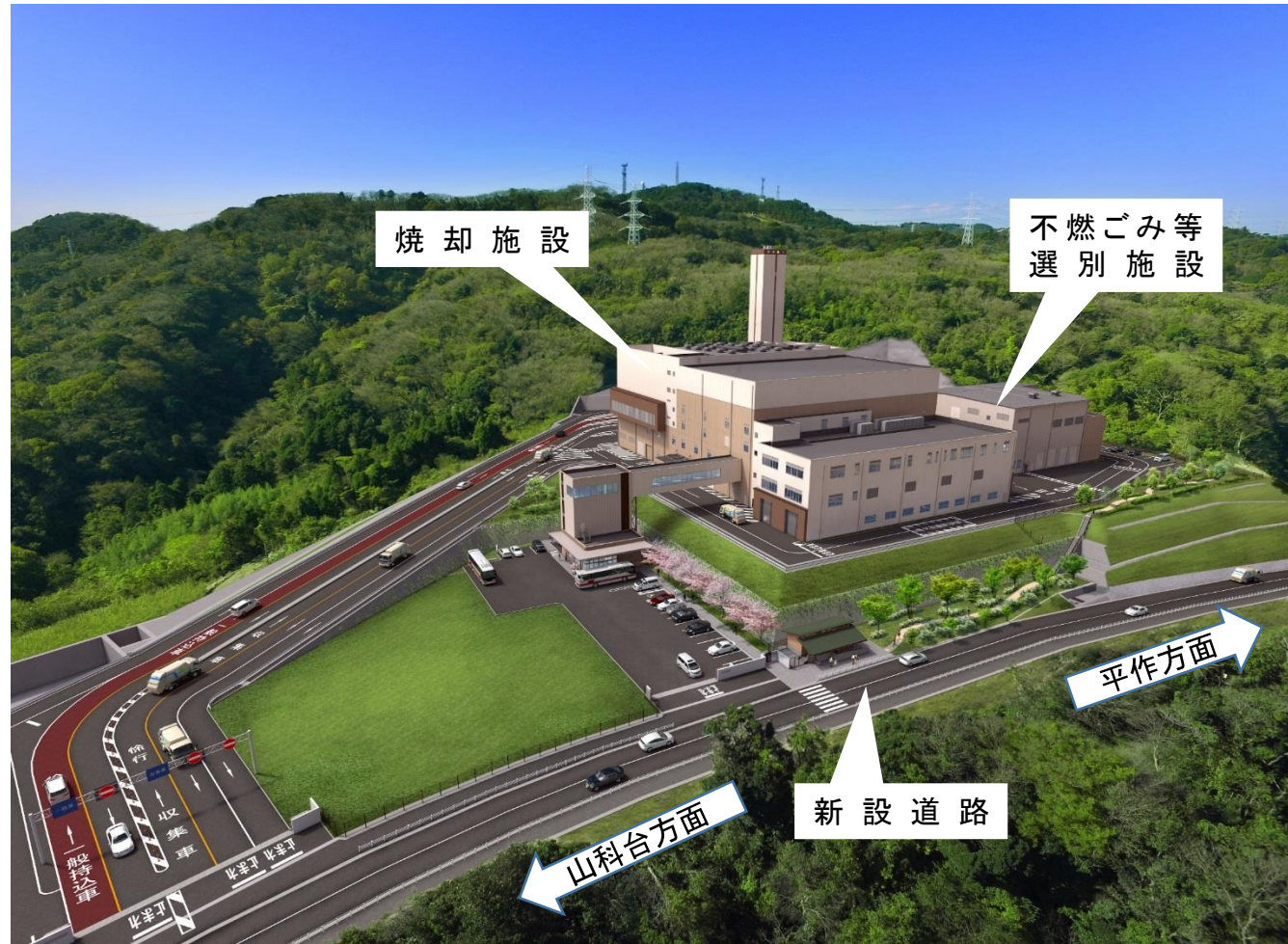
横須賀ごみ処理施設建設工事監理業務委託

受託者	パシフィックコンサルタンツ株式会社
業務期間	平成27年5月28日～平成32年2月28日
契約金額	135,000,000円

横須賀ごみ処理施設建設工事スケジュール

年 度	概 要
平成27年度	実施設計、許認可申請 (建築基準法関係、その他法規・条例関係) <ul style="list-style-type: none">・ 実施設計協議(ライフライン、施設平面図等)・ 許認可申請事前協議及び申請書類作成
平成28年度	造成工事
平成29年度	建築工事(山留、杭打、掘削など)
平成30年度	建築・プラント工事、外構工事
平成31年度	建築・プラント工事、外構工事 試運転、施設稼働

横須賀ごみ処理施設完成予想図

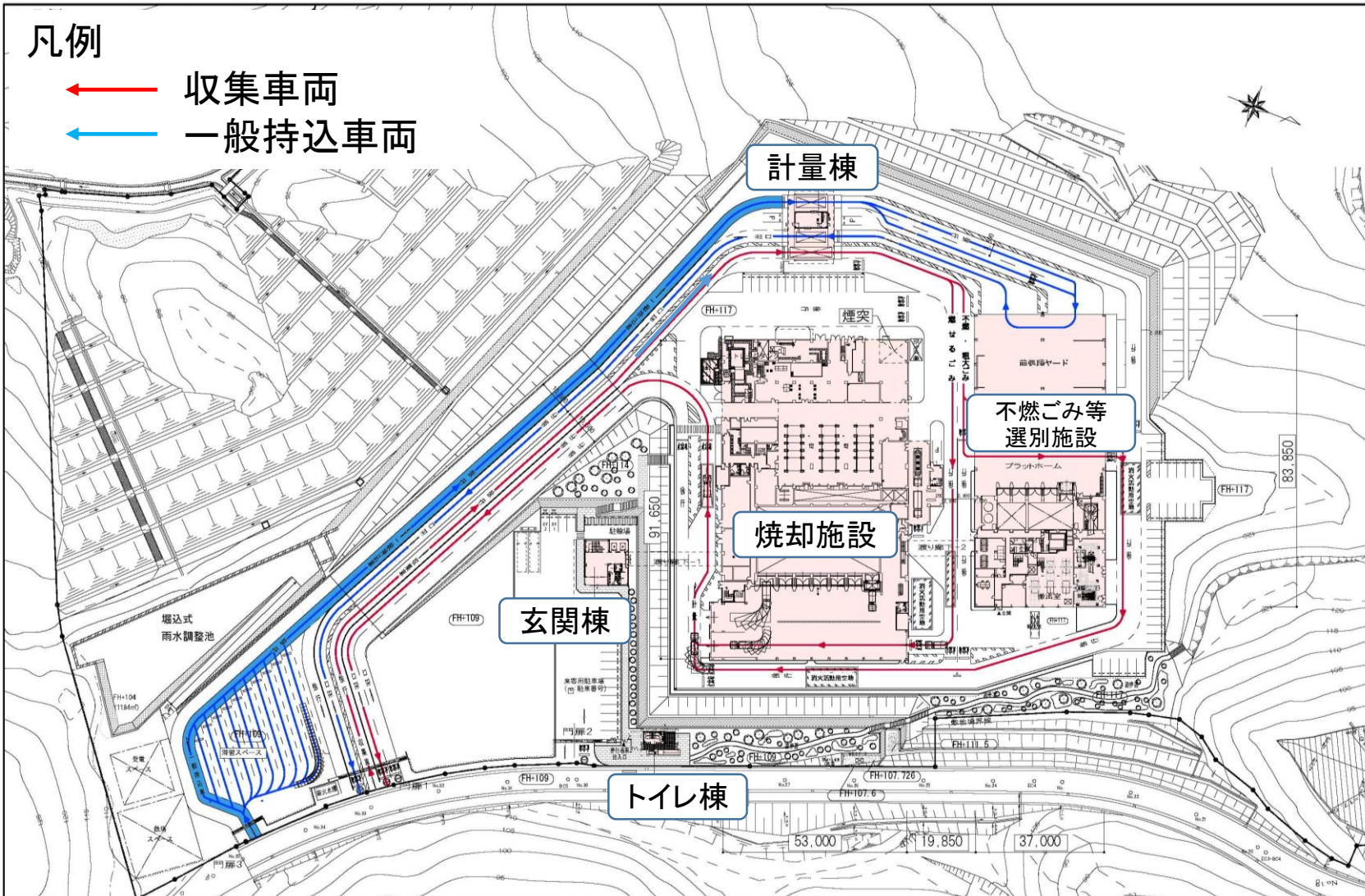


横須賀ごみ処理施設建設工事の進捗状況(全景)



平成29年10月撮影

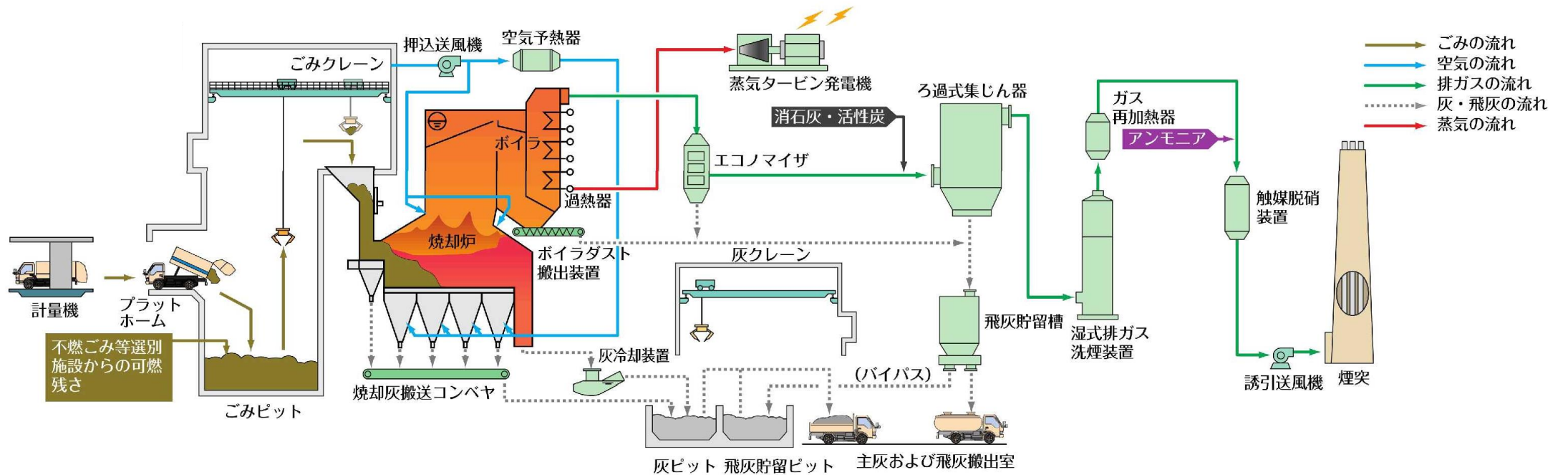
施設の配置および動線計画



焼却施設の概要

炉形式	連続燃焼式ストーカ炉(1日24時間連続運転)
処理能力	120トン/日×3炉
余熱利用設備	蒸気タービン発電機(6,600KW)
排ガス処理設備	ろ過式集じん機 + 湿式排ガス洗煙装置 + 触媒脱硝装置
煙突	建物一体型(高さ59m)
建物階数	地下1階 地上6階
建物構造	混合構造 (鉄骨鉄筋コンクリート造、鉄筋コンクリート造、鉄骨造)

焼却施設の流れ



焼却施設の排ガス自主基準値について

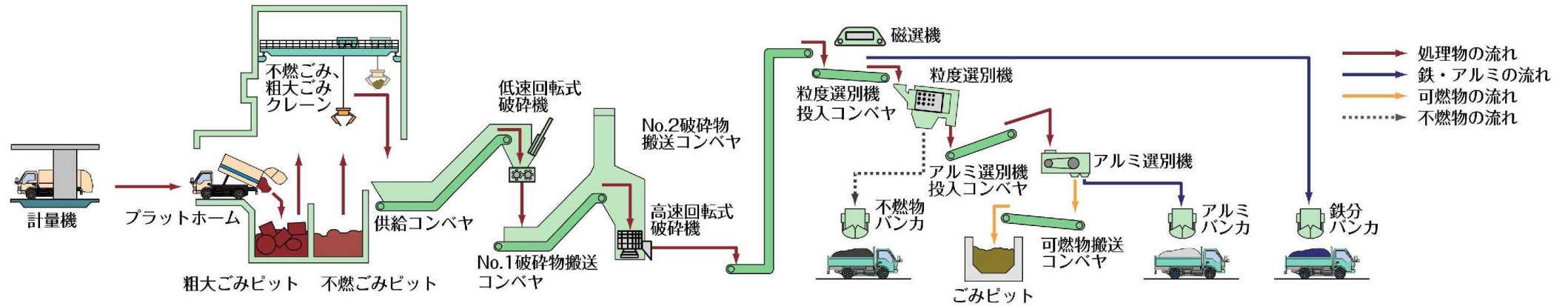
項目	環境法令に定める 規制基準値	横須賀ごみ処理施設の 自主基準値	南処理工場の 自主基準値
ばいじん (g/m ³ N)	0.04 以下	0.005 以下	0.03 以下
塩化水素 (ppm)	430 以下	10 以下	25 以下
硫黄酸化物 (ppm)	100から1,000 以下	8 以下	30 以下
窒素酸化物 (ppm)	250 以下	20 以下	150 以下
ダイオキシン類 (ng-TEQ/m ³ N)	0.1(新設) 1.0(既設) 以下	0.005 以下	※ 1 以下 (既設法規制値)

※平成12年1月15日にダイオキシン類対策特別措置法施行規則が施行
昭和58年に稼働した南処理工場は平成12年度から平成14年度まで対応工事を行い、
経過措置として、平成14年度から既設炉の規制値(1ng-TEQ/m³N)が適用された。

不燃ごみ等選別施設の概要

破碎形式	低速回転式破碎機 + 高速回転式破碎機
処理能力	30トン／5時間
選別設備	磁選機 + 粒度選別機 + アルミ選別機
建物階数	地下1階 地上3階
建物構造	混合構造 (鉄骨鉄筋コンクリート造、鉄筋コンクリート造、鉄骨造)

不燃ごみ等選別施設の流れ



三浦市一般廃棄物最終処分場建設工事

受託者	株式会社 鴻池組 横浜支店
工事期間	平成28年6月22日～平成32年2月28日
契約金額	3,148,502,400円

三浦市一般廃棄物最終処分場建設工事施工監理業務委託

受託者	八千代エンジニアリング株式会社 横浜センター
業務期間	平成28年7月29日～平成32年3月31日
契約金額	97,729,200円

最終処分場建設地



建設場所

三浦市三崎町六合
字堂ヶ島1848番1外

三浦市一般廃棄物最終処分場の概要

処理方式

サンドイッチ方式

* 廃棄物層と覆土層を交互に積み重ねる方式

埋立容量

約48,900 m^3 (覆土含む)

埋立期間

約17年

事業費（施設建設費）

区 分	金 額
施設建設費	212億円
焼却施設建設工事、不燃ごみ等選別施設工事、造成、設計等	
基盤整備費	25億円
道路建設工事、発生土埋立工事、上下水道工事等	
その他	19億円
道路設計、環境アセスメント、ごみ処理施設建設工事監理業務、用地買収費等	
小 計（横須賀ごみ処理施設建設に係る費用の計）	256億円
三浦市最終処分場負担金	19億円
合 計（広域処理施設建設に係る費用の総合計）	275億円

金額は概数、時点は平成29年2月1日

事業費（施設建設費）に係る財源内訳

区 分		金 額
国庫支出金	環境省	76億円
	防衛省	8億円
県補助金（市町村自治基盤強化総合補助金）		4億円
地方債		154億円
三浦市からの負担金		30億円
一般財源		3億円
合 計		275億円

金額は概数、時点は平成29年2月1日

事業費（施設維持管理費）

区 分	維持管理費 年間補修費	売電収益	合 計
焼却施設	約5.8億円	約1.8億円	約4.0億円
不燃ごみ等選別施設	約0.6億円		約0.6億円
最終処分場	約0.4億円		約0.4億円
合 計	約6.8億円	約1.8億円	約5.0億円

※維持管理費には、消費税は含んでいません。

両市の費用負担について

施設建設費

均等割 23%



ごみ量割 77%



各市の負担額

折半(1/2)

横須賀市: 89.7%
三浦市: 10.3%

施設維持管理費

ごみ量割 100%



各市の負担額